

金利には、良い金利上昇と悪い金利上昇がある。南欧諸国で起きているような財政危機で国債が売られ、金利が急騰するのは明らかに悪い金利上昇である。日本でこつしたことが起きてはならないことは言うまでもない。しかし、良い金利上昇もある。アベノミクスが成果を出していけば、金利は上昇していくはずだ。これは良い金利上昇である。

良い意味で金利が上昇していく理由は2つある。1つは物価上昇だ。物価が上昇していけば、あるいは将来物価が上昇していくという見方が強くなれば、それに応じて金利は上昇してい



伊藤元重の

## ニュースな見方

### アベノミクスと金利

くはずだ。

物価上昇率の上げ幅よりは金利の上昇幅の方が小さくなるという意味で、金利

は、名目金利だけでなく、実質金利も上昇することになる。

から物価上昇率をひいた実質金利は低下するかもしれないが、名目金利は上昇するだろう。

デフレからの脱却を目指す日本にとって、こつした良い金利上昇が早く起きることが好ましい。

これは、名目金利だけでなく、実質金利も上昇することになる。

また、国債を満期まで保有すれば、償還価格を確保できる。それでも、その間のインフレ分だけ、国債の実質価値は低下するが、国債よりも大きな金額である銀行の預金（これは銀行にとって負債）も、インフレで実質価値が低下する。つまり、インフレが起きることを期待した

日本に早く良い金利上昇が起きることを期待した

## 「良い上昇」対応誤るな

デフレからの脱却を目指す日本にとって、こつした良い金利上昇が早く起きることが好ましい。

しかし、もし物価上昇に伴う金利上昇であれば、金融機関にとって大きな問題ではないはずだ。

国債を大量に発行している政府にとってはどうだろうか。たしかに名目金利が高くなれば、新規の国債発行から、金利負担が大きくなる。しかし、物価が上が

国債を大量に発行している政府にとってはどうだろうか。たしかに名目金利が高くなれば、新規の国債発行から、金利負担が大きくなる。しかし、物価が上が

重要なことは、デフレから脱却し、景気を活性化させることであり、金利を上げないことではないからだ。

理由は景気拡大である。景気が拡大して投資などの資金需要が増えれば、金利も

問題は、こつした良い金利上昇を悪い金利上昇と勘違いして、誤った政策対応が行われる可能性がある

国債を大量に発行している政府にとってはどうだろうか。たしかに名目金利が高くなれば、新規の国債発行から、金利負担が大きくなる。しかし、物価が上が

国債を大量に発行している政府にとってはどうだろうか。たしかに名目金利が高くなれば、新規の国債発行から、金利負担が大きくなる。しかし、物価が上が

重要なことは、デフレから脱却し、景気を活性化させることであり、金利を上げないことではないからだ。

理由は景気拡大である。景気が拡大して投資などの資金需要が増えれば、金利も

問題は、こつした良い金利上昇を悪い金利上昇と勘違いして、誤った政策対応が行われる可能性がある

国債を大量に発行している政府にとってはどうだろうか。たしかに名目金利が高くなれば、新規の国債発行から、金利負担が大きくなる。しかし、物価が上が

国債を大量に発行している政府にとってはどうだろうか。たしかに名目金利が高くなれば、新規の国債発行から、金利負担が大きくなる。しかし、物価が上が

重要なことは、デフレから脱却し、景気を活性化させることであり、金利を上げないことではないからだ。

\*この記事は日本経済新聞社の許諾を得て転載しています。